



SUPPORTERS

サポーターズ

No.133 2012春号

山梨県理学療法士会ホームページ <http://ypta.jp/>

会員数 666名 施設数 99 (3月1日現在)



▲ 第15回山梨県理学療法士会学術集会 特別講演「脳の可塑性と理学療法」



▲ いきいき山梨ねりんピック2011



▲ 第4回学術研修会 車椅子のシーティング ～基礎と評価～



Contents

- 「第15回山梨県理学療法士会学術集会」報告…2～3
- 各部活動報告…4～5
 - 委託事業部・学術研修部
- お知らせ…6
 - 事務管理局・日本早期認知症学会

- リレーエッセイ Part 15…7～8
- 原稿募集…8
- 編集後記…9

「supporters(サポーターズ)」とは・・・

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味の supporter に複数形の s を加え、supporters: 支える人たち(造語)の意味です。

「第15回山梨県理学療法士会学術集会」報告

- 日 時：平成23年12月11日(日) ●場 所：山梨県立大学 池田キャンパス
- 特別講演：「脳の可塑性と理学療法」
- 講 師：旭川医科大学脳機能医工学研究センター 教授 高草木 薫 先生

山梨県理学療法士会学術局学術集会部長
山梨リハビリテーション病院 菊池 信



平成23年12月11日(日)に第15回山梨県理学療法士会学術集会が山梨県立大学池田キャンパスにて開催されました。今大会の特別講演は筋緊張の調節機構や歩行運動を脳生理学的観点から研究され、さらにロボット工学やリハビリテーションの分野などで幅広くご活躍されている旭川医科大学脳機能医工学研究センター教授の高草木 薫先生をお招きし、「脳の可塑性と理学療法」をテーマにご講演頂きました。参加者は255名(会員248名、非会員2名、学生5名)と昨年と比べやや減となりましたが、大変活気のある大会になったと思います。

特別講演に関しては、理学療法を進めていく上で重要となる姿勢・運動制御に関する脳生理学や最近のトピックスをわかりやすく説明していただきました。講演を聞いた方からも難解に思われる脳神経生理を臨床に即した内容でわかりやすく聞くことができたとの声が多く寄せられました。

午後からは県士会員による演題発表が行われ、過去最高の42演題が発表されました。3年目を中心とした若い年代の発表者が大半でしたが、今後も発展的に研究を進め、関東、全国へと学会発表を進めて欲しいと感じる演題が多く見られました。発表された皆様お疲れ様でした。

最後になりましたが、学会運営に関しては多少の不備があったかと思えます。今後も皆様から寄せられた意見を基に、円滑な運営と活気のある学会となるよう努めていきたいと思えます。本当にありがとうございました。



学会を終えて

Report 1

山梨厚生病院 雨宮史樹

今回第15回学術集会にて「足部柔軟性とバランス能力・足把持力との関連について」という演題を発表させて頂きました。

発表を終えての感想としては、「終わった」という達成感もありましたが、正直なところ「もう少し良い発表が出来たかも・・・」という悔しさの方が大きかったです。自分では出来る事はやってきたつもりでしたが、本番では先生方の的確な質問の前に頭の中が真っ白になりあたふたするばかり……。自分の詰めの甘さや人に伝える事の難しさを改めて実感し、今後の課題となることが沢山見えてきました。また自分の発表を終えてからは他の先生方の発表を聞くことが出来、とても良い刺激になりました。今回の研究を発表で終わらせるのではなく、今後の研究や臨床の場



で活かしていけたらと思います。

最後に、今回の発表に御協力頂いた方々、学術集会当日の運営スタッフの先生方に心より感謝いたします。ありがとうございました。

Report 2

りほく病院 加納美穂



今回、第15回学術集会にて、「在宅復帰時に自立が希望されるADL動作は何か」というテーマで発表をさせていただきました。

日々の業務を行ないながらの資料収集やデータをまとめる作業は大変でしたが、何とか準備を終え、発表することができました。

病院での発表練習では、準備の不足や緊張で失敗の連続でしたが、それから何度も何度も練習を行ない本番に臨みましたが、当日は、緊張から声が震えて少し早口になってしまいました。発表を聞いて下さった先生方から貴重な意見や質問を頂くことができ、終わった後はとても心地よい達成感がありました。

アンケート調査を実施したことにより、利用者様やご家族の考え・意識を身近に感じとることができ、とても貴重な経験をすることができました。今回の経験を糧とし、今後も成長していけるよう日々努力していきたいと思います。

最後に、今回の研究に協力して下さった利用者・ご家族様、忙しい中何度も指導して下さった上司・先輩方、励ましてくれた同期達に心より感謝致します。本当にありがとうございました。

Report 3

市立甲府病院 花形悦伸

今回、一般演題にて「人工股関節全置換術施行後、歩行再獲得に至った後期高齢者の一症例」の発表をさせていただきました。

1年目のまだ仕事に慣れておらず、知識や経験、それに加え、学会などで発表した経験がなくとても不安でした。抄録やスライドの作成に多くの時間がかかりましたが、職場の先輩方に多くのアドバイスを頂きながら完成させることが出来ました。当日はこのまま発表していいのか不安でしたが、いざ発表となるとあっという間に終わってしまいました。質疑応答では自分の伝えたいことを上手く伝えることが出来ず、自分の考えをまとめて説明する能力の低さを痛感しました。また、今回の症例を通して、患者さんに今何が起きているのかその原因を考えて治療していくことが重要だと思いました。

就職してはや1年が経とうとしています。自分の治療が上手くいかず落ち込むこともありますが、妥協せず笑顔を忘れずに理学療法士として成長していきたいです。



各部 活動報告

社会局 委託事業部発

いきいき山梨ねんりんピック2011

平成23年9月24日(土)に、小瀬スポーツ公園で開催された“いきいき山梨ねんりんピック2011”へ理学療法士会として参加してきました。いきいき山梨ねんりんピックは、毎年9月第4土曜日に開催されている高齢者のスポーツ大会を中心に、趣味・文化活動の発表、各種即売、ゲーム等、様々な催しがあり、子供から大人まで楽しめるイベントです。

今年度も、広報部、地域連携部、スポーツ理学療法部、委託事業部から6名の先生方に協力をいただき、福祉・保健情報コーナーへブースを出展しました。活動内容は、理学療法士の啓発活動として、パンフレット・記念品等の配布、各種相談への対応を行いました。相談には、筋力向上・介護予防の方法、関節痛の改善方法などに関するものが多く、病院等で、病気、けがを負った方に関わることが主となる私たちにとって、健康増進、障害予防への関わり的重要性を感じました。

超高齢社会を迎えた日本、健康寿命の延伸が施策となっていますが、趣味、スポーツを楽しみ、生きがいを持っている高齢者の元気さを感じる一日でした。

葦崎市立病院 古屋 伴仁



●問い合わせ先：社会局委託事業部 古屋伴仁
(葦崎市立病院リハビリテーション科内 TEL 0551-22-1221)

学術局 学術研修部発 第4回学術研修会報告 (参加人数：73名)

- 日 時 平成24年2月5日(日) 10:00～16:00
- テーマ 「車椅子のシーティング ～基礎と評価～」
- 講 師 日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻
専攻長・教授 木之瀬 隆 先生



平成24年2月5日、第4回学術研修会がホテル クラウンパレス甲府において開催されました。日本医療科学大学 保健医療学部 リハビリテーション学科の木之瀬 隆先生を講師に迎え、「車椅子のシーティング」をテーマに講義をして頂きました。

講義では、指標となる椅子座位姿勢の評価のポイントである脊柱ライン、骨盤の傾きの見方、車椅子の選定・適合方法や車椅子クッションの分類などを学ばせて頂きました。また、実技では座位姿勢計測器HORIZONを用いた座位姿勢の計測手法やリフトの使用方を教えて頂き体験することもできました。

特にHORIZONを用いた計測は、今までイラストや文章でしか表現できなかった姿勢の傾きを数値データとして示すことができ驚きました。

シーティングについては、臨床現場で働く中で必要とされる場面が多く自主的に勉強をしてきましたが、今回の研修会を通して新しい知識や考え方を学ぶことができました。この学んだ知識や実技の経験を活かし、臨床現場において実践していきたいと思えました。貴重な研修会を開いて頂き、本当にありがとうございます。



巨摩共立病院 小野沢 修

- 問い合わせ先：学術局学術研修部 名取大輔
(甲府共立病院リハビリテーション科内 TEL 055-226-3131)

学術研修部 部員募集

学術研修部は、定期的に行われる学術研修会の企画・運営をしています。県士会員の皆様方のご意見をお聞きしながら、より良い研修会を開催していきたいと思っております。著名な先生や興味のある分野の研修を企画・運営したいと思うなら・・・是非、部員になって一緒に活動しませんか？ 興味のある会員の方は、下記までご連絡ください。

- 活動内容：年間の学術研修会の企画・運営（月1回の会議も含む）
- 連絡・問合せ先：甲府共立病院 リハビリテーション科 名取大輔

TEL：055(226)3131 FAX：055(226)3158

E-Mail：11-riha@yamanashi-min.j

事務局より

●平成23年度定期総会案内●

●日 時：平成24年4月20日(金) ●時 間：18時30分～ ●場 所：大木記念ホール

●変更手続きについて●

会員データに変更(異動・休会・復会・退会)がありましたら、届出が必要になります。HPに、各種届出用紙があります。郵送にて、早急に手続きを行って頂けるようお願いいたします。
入会をされていない新人会員の方は、会員登録するようお願いいたします。

- 異動(勤務先変更・自宅住所変更・改姓・転出入等)が生じた場合は、速やかに事務局へ異動届をご提出ください。
- 各種届出用紙(異動・休会・復会・退会)は協会HP及び士会HPにてダウンロードできます。
- 県外異動については、異動前及び異動後の各都道府県士会事務局へ提出下さい。
- 提出時には捺印のご確認をお願いします。(捺印がない場合、処理致しかねます)

●慶弔申請の窓口は事務局です●

慶弔事項(一親等及び配偶者)が発生しましたら、電話番号住所等を事務局まで速やかにご連絡をお願いします。

●平成24年4月1日より包括会員システムへ変更予定●

詳細は後日ご連絡いたします。

●財務部より：楽天カードへの切り替え●

来年度からの、日本理学療法士協会・山梨県理学療法士協会費徴収は、原則として『楽天カード』にて行われます。ニコスカードから楽天カードへの切り替えがお済みでない方は、『楽天カード(日本理学療法士協会会費徴収用)』の発行をお早目をお願いいたします。お手数ですが円滑な士会運営の為、会員のみなさまのご協力をお願いいたします。

ご不明な点につきましては、下記の問い合わせ先にご確認下さい。

- 問い合わせ先：事務局 斎藤(甲府城南病院リハビリテーション科内 TEL 055-241-5811)

第13回日本早期認知症学会のご案内

下記のように学会を開催致します。本学会は医師・歯科医師・看護師・保健師・歯科衛生士・PT・OT・ST・MSW・介護職等、認知症に関わる方であれば、職種に関わらず参加可能です。内容は認知症に関する最先端の情報から、身近な介護の工夫まで幅広く取り上げております。ただ今、演題応募も受付中です。県内の多くの方に演題発表及び参加をいただきたいと思っております。また、市民公開講座では、「長谷川式簡易知能評価スケール」を開発された長谷川先生の講演もごさいます。詳細はホームページをご覧ください。ご不明の点は大会事務局までお気軽にお問い合わせ下さい。

(第13回日本早期認知症学会)

- テーマ：「認知症の早期発見と治療 NOW！」
- 期 日：平成24年9月16日(日)・17日(月) ●会 場：山梨県甲府市内
- 大会長：甲府脳神経外科病院 理事長 篠原 豊明
- 事務局：〒400-0805 山梨県甲府市酒折1-16-18 甲府脳神経外科病院
- 大会ホームページ：<http://www.jsed-taikai.jp/> ●e-mail：jsed13th@yahoo.co.jp

(市民公開講座)

- テーマ：『認知症の医療とケア ―今とこれから―』
- 講 師：長谷川 和夫 先生(認知症介護研究・研修東京センター)

リレーエッセイ ～途絶えることのない バトンを君に～

『リレーエッセイ』とは・・・

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい(ただし、誹謗や中傷の内容は除外します)ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

今までの Supporters にあった「会員のひろば」と違い、会員同士の輪を広げるといって、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

Part15-1

富士温泉病院 河原忠司

前回の嶋田先生と同様にソフトボールの話になってしまいますが、富士温泉病院にはソフトボール部があり、私が今年度部長をしています。

去年の12月に今回が第1回目となる病院・福祉球技大会(ソフトボール)があり、当院も参加しました。

結果は・・・1回戦目、4点差を追う最終回に5点取り、16対15で逆転勝ち。

2回戦目、3点差の最終回に同点に追いつき、勝敗を決める9対9のジャンケンでは、1人目からまさかの5連勝で勝ち、決勝進出。

決勝戦では、0対0で迎えた3回表の攻撃で11点取られ万事休す・・・。かと思われた裏の攻撃で12点取り優勝・・・。

春夏、月に1・2度しか練習しないチームに起きた奇跡。プロ野球、日本ハムファイターズの斎藤佑樹選手が言うところの「もってる」とはこのことでしょうか？

みなさんもこのような感動を共有しに、参加・応援に行かれてみてはいかがでしょうか？



今回は、『健康科学大学リハビリテーションクリニックの

森田伸哉先生』へバトンをお渡しします。

Part15-2

竜王リハビリテーション病院 工永雅子

富士温泉病院の小野寺智予先生からバトンを預かりました竜王リハビリテーション病院の工永雅子です。理学療法士として働き出して1年が経過しようとしています。

この1年を振り返ると、仕事・職場に慣れることが出来ず毎日ゼーハーと息を切らしていた春。職場の雰囲気慣れ始め先輩方に誘われるがまま24時間リレーマラソンに出場し1週間筋肉痛に苦しんだ夏。良い意味でも悪い意味でも仕事の要領をつかみ始め、帰宅時間が早くなり居酒屋に寄ることが増えた秋。寒さにやられ、頻繁に風邪をひいてしまった冬・・・といった1年でした。

仕事中には、感情失禁のある方へ「なんで泣くの～」と自分が泣きそうになったり、認知症がありリハに対し拒否の強い患者様に対し憤怒しそうになったりと、振り返ると苦笑いしか出て来ないようなこともたくさんあります。4月から後輩が入ってくるというプレッシャーを感じ、初心に帰り、2年目に突入していきたいと思っています。



次回は、『湯村温泉病院の手塚麻希子先生』へバトンをお渡しします。

原稿を募集しています

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。

テーマ等は自由です。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他



内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

※第134号発行は、6月下旬を予定している為、締め切りは、5月下旬です。

問い合わせ先：広報局 会報部 菊池 悟

(一宮温泉病院 いちのみや訪問看護ステーション TEL 0553-20-5255)

E-mail:kikuchisatoru560905@yahoo.co.jp

編集後記



本年度より、会報部（会報誌作成）を担当させて頂き、あっという間に1年が経過し、無事に本年度最終号の会報誌を皆様にお届けすることが出来ました。会報誌の作成から発行までにおいてご協力頂いた先生方にはご連絡や説明不足等で大変ご迷惑をおかけしたと思われませんが、前年度の会報部長をはじめとし、会員の皆様、5名の会報部員、県士会役員の皆様のサポートにより何とか1年間業務を遂行することが出来ました。私自身には、今まで経験したことのない事もたくさんあったので、非常に勉強になった1年となりました。本年度の経験や反省を踏まえて、来年度もよりよい、又、特色のある会報誌作成を心がけていきたいと思っておりますので、ご意見や感想等がありましたら是非ご意見をいただけますと幸いです。本年度1年間ご協力頂きまして誠にありがとうございました。

菊池 悟

● 発行 ● 山梨県理学療法士会

● 代表 ● 谷村 英四郎

● 企画・校正 ● 菊池 悟 水上 卓 小野 貴博 糸井 美里 矢崎 博美

● 編集・印刷 ● 有限会社 ナカガワ

● 会報部 ● 〒405-0077 山梨県笛吹市一宮町坪井 1754

いちのみや訪問看護ステーション TEL 0553-20-5255 / FAX 0553-20-5256

一宮温泉病院 TEL 0553-47-3131 / FAX 0553-47-3434

E-mail:kikuchisatoru560905@yahoo.co.jp